

活動報告

団体名	NPO 法人チャルカ・ジャパン
活動名	益城町こどもサポートプロジェクト
活動期間	2017年4月～2018年3月
活動の成果	<p>熊本地震発生直後から1年半以上にわたり、被災者、とりわけ高齢者と子どもの心に寄りそう活動を継続して行ってきました。</p> <p>仮設生活を1年経過したあたりから、子どもの落ち着きのない行動、粗野な言動が目立ちだし、不登校や発達障がい児へのサポートが十分に行き届いていないように感じたため、今までのコミュニティー活動に加え、このサポート事業を開始したところ、家から出てこなかった子どもが他の子どもと一緒に遊んだり、すすんで勉強を申し出たり、さまざまな変化がみられました。</p> <p>子どもだけでなく、親、自治会、住民などと、問題のある子どもへの対応方法など地道に周知してきたことが、良かったのかも知れません。</p> <p>ただ、地震による経済環境の変化から、家庭環境に格差が生じ、それが子どもたちの養育環境に影響しているという側面も見逃せないものがあります。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>私たちのような、「ココロ」と言う、カタチに見えない活動にご支援頂き誠にありがとうございます。</p> <p>幼少期の一瞬で、子どもの将来が変わること可能性があるため、皆さまの善意の気持ちが、将来の日本を担う子どもたちの育成に大いに役立つよう、仮設住宅の期限まで、何らかの形で活動を続けてまいります。</p>

(活動のようす)

